

都道府県・政令指定都市・中核市里親会 御中

公益財団法人全国里親会
会長 河内 美舟



全国里親会・平成28年度事業報告並びに決算報告等について

謹啓 平素は全国里親会活動にご支援ご高配を賜り洵に有難うございます。衷心より厚く感謝申し上げます。

去る6月2日開催の全会評議員会において、標記報告等が決議可決されました。よって、ここに謹んでご報告申し上げます。

顧みますと昨年は、内閣府から「勧告」を受けるといふ、本会にとって有ってはならない大変深刻な事態でありました。前役員が総辞任後の信用失墜状況の法人運営や、「勧告」への重い課題への対応は苦難極まりないものでした。

これを受けて、公益財団法人全国里親会の所轄庁である内閣府や厚生労働省の各担当部署との指導を仰ぎながら、日夜連絡連携を密にしながら新執行部で進めてまいりました。

「勧告」で示された諸課題への対応については、昨年から数回にわたる報告等に加え、3月1日付で皆さんにご説明したとおり、解決済みでございます。

今後は、公益財団法人としてのガバナンスとコンプライアンスの基としたルールを更に遵守し、社会的養護の充実、ならびに会員や国民や皆さんの信託に堪えていけるよう役員共々襟を正して法人運営を進めてまいる所存でございます。

新体系発足から、数年にも及ぶ指摘事項に対しての事案に試行錯誤の改善作業と勧告概要の精査及び新体系事業計画の充足と展開や諸事業修復の作業は、想像を絶するほどでしたが、昨年の全国里親大会時のお約束事項など片時も忘れることなく心身疲労困憊状況にある中にも里親会の正常運営に心砕いてまいりました。会長の職責にあつて、事務局体制改善や組織改善・関係機関との調整等の協議報告・行政への要望や提案業務などの時間制約実務のはざかいにあつて、立ち止まること無きほどでした。

勧告改善命令を根幹とした平成28年度の事業等について定款に基づき、理事会を経て、議決機関である評議員会にて可決され、本日、此処に改めて皆様にお示しする運びとなりましたことを謹んでご報告と致します。

併せて、IFCO 大阪大会の決算についても税理士による確認と事務局会計との整合性を確認できました。ここに、再度お示しさせていただきますので皆様の里親会に所属会員の方々への周知をお願い申し上げます。

なお、本会ホームページにも準備が整い次第、掲載する予定です。

結びに、役職員一同結束して、全国の里親会がより一層進展できるよう努めてまいります。今後とも全国里親会へのご支援ご協力をご理解を賜りながら、社会的養護を必要とする子ども達の育みの支援に邁進いたしますので何卒よろしくお願い申し上げます。

謹 白

公益財団法人全国里親会
平成29年度第1回評議員会

- 1 開催日時 平成29年6月2日(金) 11時00分～13時00分
- 2 開催場所 全国里親会事務局 港区赤坂9-1-7-856
- 3 出席者
出席評議員4名(定数5名) 梅原 啓次、 上鹿渡 和宏、 都留 和光、
吉田 菜穂子
欠席評議員1名 鶴飼 一晴
出席理事 2名 河内 美舟、 捧 智宏
出席監事 2名 武藤 廣茂、 高橋 永郎
- 4 会長挨拶
- 5 議長選出 定款第23条の規定により、出席評議員の互選による。
- 6 署名人 定款第22条の規定により、議長及び出席評議員から署名人2名選任。
- 7 審議事項
議案1 平成28年度事業報告(案)について
議案2 平成28年度収支決算(案)について

平成28年度 事業報告及び収支決算表

平成28年度事業は、平成27年度第2回理事会（平成28年3月12日 開催）において承認された「平成28年度事業計画及び収支予算」に基づき、里親制度の充実促進を図るため、次の事業を行った。

なお、28年度は、内閣府からの勧告への対応及び勧告を受けたことによる助成金の収入減があり当初計画どおりの事業を行うことができなかった。

特に、公益目的事業である「調査研究（公1）」については、里親制度の充実・促進を図るため、社会福祉法人横浜博萌会との委託契約により毎年実施してきたが、今年度は契約を締結することができなかった

また、民間団体からの助成により研修会等「里親の育成（公2）」の事業についても、助成が見送られたため、予算及びマンパワーの点からも十分な活動ができなかった。

[公益目的事業]

1. 里親の育成事業(公2)
2. 里親制度の普及啓発事業(公3)
3. 里親に対する表彰事業(公4)
4. 里親制度及び里親会活動等に関する相談指導事業(公5)
5. 災害を受けた里親家庭及び児童等に対する支援事業(公6)

[法人関係事業]

6. 一般管理事業
7. 関係機関団体との連絡調整事業
8. その他、法人の目的を達成するために必要な事業

1. 里親制度に関する調査研究事業（虹センター委託事業）（公1）

里親委託の促進及び里親の養育を支援するための方策等について調査研究するため、社会福祉法人横浜博萌会子どもの虹情報研修センターとの業務委託契約により、全国里親委託等推進委員会(平成24年度設置)において、引き続き調査研究を行う予定であったが、予算面から実施することができなかった。

2. 里親の育成事業(公2)

1) 里親に対する研修

里親会活動による里親支援や里親会の活動の活性化、里親の養育技術向上のための研修を実施した。

① 第61回全国里親大会の開催（公2、公3、）

厚生労働省の提唱により「里親を求める運動」が、毎年10月1日～31日の1か月間行われるが、その一環として11月12日（土）・13日（日）茨城県水戸市「県立県民文化センター」において「第61回全国里親大会」を開催した。

大会では、里親制度の進展に功労のあった関係者に対する全国里親会会長の表彰の顕彰を

毎年10月1日～31日の1か月間を里親強調月間とし、厚生労働省が「里親を求める運動」を提唱しているが、その一環として11月12日（土）・13日（日）茨城県水戸市「県立県民文化センター」において「第61回全国里親大会」を開催し、長年里親として功労のあった者に対して顕彰を行っている。

全国里親会 会長表彰 58件
全国里親会 会長感謝状 4件

5. 里親制度及び里親会活動等に関する相談指導事業（公5）

1) ホームページの管理・更新

全国里親会の活動状況、会員の動向・会員向けの情報提供サービス、地方里親会の事業の開催状況（開催時期や募集等）などリアルタイムで最新情報を提供した。

2) メーリングリストによる情報交換、質疑応答、意見交換などの管理を行った。

6. 災害を受けた里親及び児童等に対する支援（公6）

1) 東日本大震災の被災児童に対する支援を引き続き実施した。

① 「東日本震災子ども救援基金」の募金活動を継続して行った。

② 被災児童を養育している親族里親への支援として、養育費等一世帯50万円の支援金を支給した。 34件 1,700万円

③ 岩手県里親会が被災児童を対象として行う、一泊旅行によるレスパイト事業（日蓮宗青年部事業）に対して一部費用を助成した。

第5回集まれ東北の子どもたちへの支援 助成額 20万円

④ 仙台市ほほえみの会が被災児童や里親を対象として行った里親子キャンプに対して経費の一部を負担した。

里親子キャンプ～里親と里子の集い）の実施 助成額 30万円

2) 熊本県及び鳥取県の被災里親家庭に見舞金を贈呈した。

熊本地震（14件 42万円） （6月8日支出）

鳥取地震（14件 51万円） （10月27日支出）

7. 関係機関・団体等との連絡調整

全国社会福祉協議会、全国児童養護施設協議会、全国乳児福祉協議会、全国児童家庭支援センター協議会等の関係団体との連絡を密にして、制度の推進と啓発及び周知徹底に努めるとともに、報道機関等への積極的な働きかけにより、国民一般への制度の周知と広報への協力を図った。

8. その他、法人の目的を達成するために必要な事業

1) JX里親家庭奨学助成への協力

全国社会福祉協議会が、JXホールディングス株式会社から寄付を受けて、里親家庭の委託児童や児童養護施設、母子生活支援施設の入所児童が大学や専門学校等に進学する場合、支度金の一部として1人10万円を助成しており、本事業に協力し、里親会会員等への周知等を図った。

第6回臨時理事会	10月8日 14～15時	マロウドイ ン赤坂	・評議員会の開催について
第3回臨時評議員 会	10月13日 17～18時	事務局	・理事及び監事の選任について ・勧告に係る措置状況報告 ・全国里親会新体制について
第7回臨時理事会	10月14日 10:30～1 2:30	事務局	・会長・副会長の選任 ・全国里親会の組織体制について
第8回臨時理事会	11月3日 14:30～1 9時	事務局	・全国里親会の組織について 委員会の設置について ・全国里親大会茨城大会の開催について
理事会・評議員会 合同会議(意見交 換会)	11月22日 13～17時	ナチュラッ ク赤坂	・第三者委員会及び各委員会の設置に関す ること
第9回臨時理事会	12月27日 13:45～ 15時	ナチュラッ ク赤坂	・全国里親会諸規定の改定について ・事務局長の公募について ・全国公益法人協会への入会について ・団体からの助成による事業の実施につい て
第10回臨時理事 会	1月27日 14:10～1 7:40	事務局	・ブロック長会議の開催について ・事務局長の任用について ・評議員会の開催について 定款変更について ・公益目的事業の変更について 6事業の統合と収益事業の追加 ・委員会の設置及び運営規則の改定について
第5回評議員会	2月10日 14:50～ 15:20	ナチュラッ ク赤坂	・定款の変更について その他の事業の追加
ブロック長会議	15:20～ 16:00	同	・ブロックの現状と今後について
第11回理事会	3月15日 13:10～ 16:25	事務局	・29年度事業計画及び予算(案) ・委員会委員について(監事は委員に委嘱 しない)

様式1

貸借対照表

平成29年 3月 31日現在

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	175,629	239,078	(63,449)
預金	1,927,868	7,857,654	(5,929,786)
流動資産合計	2,103,497	8,096,732	(5,993,235)
2. 固定資産			
(1)基本財産			
土地	7,361,000	7,361,000	0
建物	937,752	1,012,830	(75,078)
定期預金	86,500,000	86,500,000	0
普通預金	5,004,201	5,004,201	0
基本財産合計	99,802,953	99,878,031	(75,078)
(2)特定資産			
子ども救済基金	31,138,469	48,751,840	(17,613,371)
現金	41,396	41,396	0
預金	31,097,073	48,710,144	(17,613,071)
使途特定寄付金	122,000,000	30,000,000	92,000,000
預金	122,000,000	30,000,000	92,000,000
特定資産合計	153,138,469	78,751,840	74,386,629
(3)その他の固定資産			
備品	76,918	135,931	(59,013)
固定資産合計	253,018,340	178,765,802	74,252,538
資産合計	255,121,837	186,862,534	68,259,303
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	1,605,343	2,024,424	(419,081)
負債合計	1,605,343	2,024,424	(419,081)
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	153,138,469	78,751,840	74,386,629
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	153,138,469	78,751,840	74,386,629
2. 一般正味財産	100,378,025	106,086,270	(5,708,245)
(うち基本財産への充当額)	99,802,953	99,878,031	(75,078)
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	253,516,494	184,838,110	68,678,384
負債及び正味財産合計	255,121,837	186,862,534	68,259,303

正味財産増減額計算書(28年度)

(平成28年4月1日から平成29年3月31日)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用収入	40,751	63,902	△ 23,151
② 特定資産運用益	20,189	41,479	△ 21,290
③ 受取会費	11,313,000	11,482,000	△ 169,000
④ 事業収益	0	0	0
⑤ 受取補助金等	1,500,000	20,490,000	△ 18,990,000
⑥ 受取寄付金	29,204,442	5,858,789	23,345,653
⑦ 雑収入	1,544,196	4,039,110	△ 2,494,914
経常収益計	43,622,578	41,975,280	1,647,298
(2) 経常費用			
① 事業費	37,390,031	35,757,829	1,632,202
給料手当	7,499,416	6,809,152	690,264
法定福利費	617,354	608,832	8,522
会議費	189,341	695,227	△ 505,886
旅費交通費	2,208,008	2,923,825	△ 715,817
通信運搬具	1,054,703	2,200,984	△ 1,146,281
減価償却費	134,091	165,258	△ 31,167
消耗品費	371,087	585,473	△ 214,386
賃借料	680,141	1,197,467	△ 517,326
印刷製本費	2,059,278	7,802,417	△ 5,743,139
諸謝金	653,373	4,919,953	△ 4,266,580
公租公課	92,500	92,500	0
支払負担金	300,000	320,000	△ 20,000
支払助成金	928,928	950,000	△ 21,072
被災児童支援費	18,480,000	3,384,471	15,095,529
委託費	2,059,578	3,051,032	△ 991,454
雑費	62,233	51,238	10,995
② 管理費	11,940,792	5,411,718	6,529,074
給料手当	1,874,854	1,702,288	172,566
法定福利費	154,339	152,208	2,131
会議費	548,740	154,708	394,032
旅費交通費	6,301,153	2,124,997	4,176,156
通信運搬具	263,676	122,908	140,768
消耗品費	24,713	44,923	△ 20,210
印刷製本費	180,553	76,222	104,331
賃借料	170,035	167,594	2,441
光熱水費	176,189	106,715	69,474
委託費	1,854,000	0	1,854,000
諸謝金	128,000	445,000	△ 317,000
雑費	264,540	314,155	△ 49,615
経常経費合計	49,330,823	41,169,547	8,161,276
当期一般正味財産増減額	△ 5,708,245	805,733	△ 6,513,978
一般正味財産期首残高	106,086,270	105,280,537	805,733
一般正味財産期末残高	100,378,025	106,086,270	△ 5,708,245
II 指定正味財産増減の部			0
受取補助金等	1,500,000	20,490,000	△ 18,990,000
虹センター	0	13,910,000	△ 13,910,000
日本財団助成金	0	2,080,000	△ 2,080,000
SBI子ども希望財団	0	1,000,000	△ 1,000,000
楽天みらいのつばさ	0	1,000,000	△ 1,000,000
フリップモリス	1,500,000	1,500,000	0
全国大会	0	1,000,000	△ 1,000,000
受取寄付金	103,591,071	34,876,851	68,714,220
一般正味財産への振替額	△ 30,704,442	△ 26,348,789	△ 4,355,653
当期指定正味財産増減額	74,386,629	29,018,062	45,368,567
指定正味財産期首残高	78,751,840	49,733,778	29,018,062
指定正味財産期末残高	153,138,469	78,751,840	74,386,629
III 正味財産期末残高	253,516,494	184,838,110	68,678,384

IFCO2013大阪世界大会収支計算書

収入の部

項目	平成24年度	平成25年度		合計
	全国里親会	実行委員会	委託事業	
助成金受入額	4,600,000	24,500,000		29,100,000
参加費収入			33,323,500	33,323,500
妙録集、バッジ等売上		472,388	1,072,000	1,544,388
全国里親会負担金		749,331		749,331
利息	27			27
	4,600,027	25,721,719	34,395,500	64,717,246

支出の部

項目	全国里親会	実行委員会	委託事業	合計
会場費			4,834,535	4,834,535
付帯設備使用料			7,928,383	7,928,383
WEB申し込み関連費			1,208,000	1,208,000
参加登録費			2,038,895	2,038,895
IFCO本部理事滞在費	80,525	600,000	1,846,700	2,527,225
スピーカー経費		1,810,000	939,130	2,749,130
IFCO本部理登録料	155,590	3,598,501		3,754,091
運営スタッフ関連費 (通訳含む)	943,212	4,298,456	3,037,765	8,279,433
食事・ケイタリング			3,801,500	3,801,500
ガラディナー費			7,594,950	7,594,950
ユースプログラム		605,200	468,000	1,073,200
ボランティア関連経費			1,254,912	1,254,912
資料(妙録集)作成費		289,160	4,332,000	4,621,160
報告書(記録集)作成費			6,148,800	6,148,800
大会運営管理費			6,046,721	6,046,721
会議費		22,680		22,680
通信運搬具	89,600	378,578	365,453	833,631
合計	1,268,927	11,602,575	51,845,744	64,717,246

収支差額	3,331,100	14,119,144	-17,450,244	0
------	-----------	------------	-------------	---

平成29年5月30日作成

作成者

横浜市西区高島2-11-2 カイ対-横浜703

税理士 高宮 徹

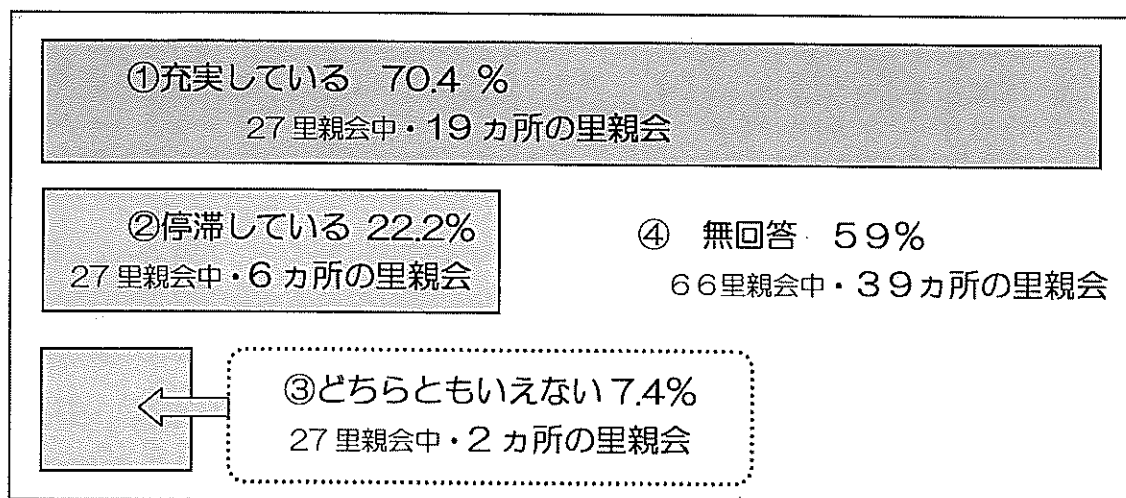


平成 28 年度全国里親大会代表者会議アンケート結果

(平成 28 年 11 月 12 日：調査実施 66 里親会中、27 里親会の回答)

※ 調査機関：平成 28 年 7 月 2 日から 10 月 20 日

1・里親会活動の状況



2・里親会の主な活動（事業）

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| 第 1 位 委託里親交流事業 | 第 2 位 研修事業・出前講座等 |
| 第 3 位 里親里子交流 | 第 4 位 会報誌・機関誌の発行 |
| 第 5 位 里親総会定例会・里親制度説明会に里親支援機関と協働 | |

3・里親会活動に今後どのような事業を重点に活動するか

- 第 1 位 広報活動の充実—里親制度の周知（産科医会との交流）
- 第 2 位 研修、ふれあい、サロン事業の充実
- 第 3 位 里親の新規開拓 里親家族交流会
- 第 4 位 研修の充実、会員里親の資質向上、養育技術のスキルアップ

4・全国里親会への要望

- | | |
|---|--------------------------|
| 第 1 位 研修会の充実—研修への助成度（里母の会・リーダー研修・少人数研修） | |
| 第 2 位 情報の公開 | 第 3 位 里親会の立場、必要性の確立基盤づくり |
| 第 4 位 各里親会からの要望の検討 | 第 5 位 里親会信頼できる全里の運営 |

5・代表者会議で取り上げたい議題

- 第 1 位 内閣府勧告問題に対する新執行部の公式見解と今後の対応
- 第 2 位 新執行部が取り組む今後の活動指針・運営方針と重点課題
- 第 3 位 里親会の立場、必要性などの確立
- 第 4 位 里子会活動・登録里親委託率増加自治体紹介・全国里親大会開催地

6・質問事項（下記事項については、これまでの報告分と此の度の報告でご理解下さい）

- ・ 内閣府勧告対応・返事等
- ・ 研修、ふれあい、サロン事業の充実
- ・ 平成 27 年度 28 年度の多額寄付金
- ・ 内閣府勧告問題の事務局・税理士対応
- ・ 新役員選出に至る概要

※全国里親会茨城大会における調査報告を整理し、以上の主な事項を掲載しました。